

鳴雷神社

大野の鎮守(ちんじゅ)である『鳴雷(なるいかづち)神社』。

(鎮守:一定の地域や構造物を守護するためにまつられた神や、その神をまつる神社のこと)

大野小学校と大野中学校の間にあります。

階段の先に見えてきました。

この神社では、毎年8月17日から19日の三日間、例大祭が行われます。

『鳴雷』とは、『伊邪那美命』(いざなみのみこと)が死後、黄泉国(よもつくに)で生んだ八雷神の石柱で、大野では雷神様と慕われています。

雷は雨を伴うことから水神の一面を持ち、また、雷の別称である稲妻が示すとおり稲作と深いかわりを持ち、豊穰の神とも言われます。

この神社も見事な彫り物がたくさん！

ぐると一周して彫り物を探して見ているだけでも時間が過ぎていきます。



境内には、『猿田彦神社』が！

『猿田彦』とは、天孫降臨の際、『天照大御神』（あまてらすおおみかみ）の孫にあたる「邇邇芸命」（ににぎのみこと）を道案内した国津神です。

道案内したことから、導きの神様として、交通安全、開運、縁結びなどのご利益も！



「鳴雷神社」に向かって左に「猿田彦神社」、右側には『祓戸大神』（はらえどのおおかみ）が鎮座します。

『祓戸大神』とは、日本神道において、お祓いを司る神々の総称です。

ここで作法にのっとり、知らず知らずに身体についてしまった穢(けが)れを祓ってみては！

